

私たちの活動や意見を平和委員会のなかま たちに伝えます
私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています



土浦平和の会

ニュースNo. 243 2012年 6月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

<http://heiwatutiura.web.fc2.com/>

2012年 土浦平和の会総会が開催されました。

6月20日、四中地区公民館で2012年土浦平和の会の総会が15人の参加で開催されました。はじめに、「土浦・阿見の自衛隊基地」という話が、井上仁志氏からありました。続いて、議長として岡田理事を選び総会が行われ、経過報告、会計報告が井上理事から行われ、会計監査の船津寛氏が監査報告を行いました。引き続いて質疑、討論が行われ、自衛隊に関して災害救助の部隊にするべき、日米安保が当面の問題だ、不要な戦車などの無駄遣い、などの意見が出ました。宜野湾市長選挙でのカンパなど会員に呼び掛けて運動にすべきであったという意見が出ました。全員の拍手で承認されました。

運動方針案が齊藤代表理事から提案され、原水禁世界大会や日本平和大会に代表を派遣すること、平和の旅を佐渡、東北の被災地などでぜひ実現しようなど意見が出、全会一致で採択されました。次期役員（別掲）が井上理事から提案され、拍手で承認されました。

新年度役員

代表理事（会長）井上仁志 事務局長 近藤輝男
理事 大滝 誠 岡田安正 齊藤房雄 須藤摂子 古沢 明 前川 吉 山口雪雄
監査 船津 寛 石井 明

{新会長のことば} いま草の根の力の頑張りどき

代表理事（会長） 井上仁志

代表理事を引き受けるにあたってひと言

国内では沖縄の米軍基地問題に加えて脱原発、改憲阻止、対外的には北朝鮮の核実験、対中国との尖閣諸島問題等多くの課題を抱えているこの時期に、平和委員会・平和の会が平和の砦を大きく広げていくことが求められています。私たちも新しい仲間を迎えるとともに、民主的市民団体との協力を強めながら頑張っていこうではありませんか。

会長退任の弁

前代表理事 齊藤房雄

「先生、安保条約に賛成ですか、反対ですか・・・」

1960年5月のある日の授業のこと、Y君が立ち上がり、いきなり私にこんな質問を浴びせてきたのです。4月に境高校に新採で赴任したばかりの私、正直言って面喰いました。どんなことを言ったかは詳しく

平和の会ニュース、平和かわら版（PDF版）配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122
早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください

私たちの活動や意見を平和委員会のなかま たちに伝えます
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

覚えていませんが、とにかく「安保には反対だ」と言ったことは確かです。

当時は境という県西の田舎町でも安保反対の運動が高まり、連日バスを仕立てて国会動員に上京するという雰囲気でした。それがY君ら高校生の意識にも反映していたのです。その後、私も勉強を重ねて新安条約の本質は旧安保の「基地貸与協定」から日米「対等・平等」の名のもとに、両国の「共同作戦」を行う危険な軍事同盟になったのだと分かり、それを知れば知るほど、一層積極的に集会やデモに参加するようになっていったのです。これこそ教師としての原体験であり。爾来、教育の中でも運動でも戦争と平和の問題を活動の中心に据えて、今日に至っています。

長々と昔語りをしたのは、安保発効 60 年、沖縄復帰 40 年の今こそ旧に倍した運動を盛り上げる必要性を痛感し、かつての「安保体験」を糧にその一翼を担いたいと思ったからです。

茨城県平和委員会定期大会は 6 月 17 日（日）茨城県青少年会館（水戸）において開催されました

沖縄・高江ヘリパッド反対座り込みと交流してきました。

5月20日から4日間、沖縄を訪れ、辺野古、高江で基地反対闘争を激励してきました。首里城、美ら海水族館、サンゴ礁の海、沖縄の歌のライブなども楽しんできましたが、ここでは、あまり知られていない高江ヘリパッド（ヘリが降下する場所）建設反対の座り込みのホットな報告をしたいと思います。

普天間基地を返還する代わりに辺野古の青い海に基地を押し付けられようとしています。同様に、沖縄本島の北にある「やんばるの森」の大部分を占める「米海兵隊北部訓練場」の半分を返還する代わりに新たに6か所のヘリパッドを作るという話が現実化しています。それも、オスプレイという最新式の垂直離着陸飛行機の訓練場を高江という150人ほどの小さな集落を囲んで作るのです。民家から400mほどのところ。周囲の森はヤンバルクイナ、ノグチゲラなどの天然記念物の宝庫です。騒音と墜落、枯葉剤などに脅かされるとして高江の人々が反対しています。それに対して、沖縄防衛局はその人々を子供まで含めて妨害者として裁判沙汰にしています。その上、重機をもってきて工事を強行しようとしています。今年2月には反対する人々の目の前に重機を動かし脅かしました。今、予定されたヘリパッドにつながるゲート前で座り込みが行われています（写真は座り込みの人たちと）。まさに、ホットな闘いが行われています。辺野古でも聞かれましたが「沖縄は差別されている」という怒りに、胸が締め付けられました。

（岡田安正）



高江の座り込みの人たちと

活動ごよみ

- 5・29 平和行進土浦実行委員会
- 6・11 さよなら原発事務局会議（コープ）
- 6・14 8. 15平和のつどい実行委
（コープ）
- 6・17 県平定期大会（県青少年会館）
- 6・19 平和の会理事会（コープ）
さよなら原発事務局会議（コープ）
- 6・23 原爆展実行委員会（コープ）
- 6・26 平和行進実行委員会（新婦人事務所）

原水爆禁止 2012 年世界大会へ土浦から代表を送ろう。自薦、他薦を歓迎します。

会では代表の参加費用をカンパで集めて送ろうとしています。ぜひ、参加してみたいという方の自薦、他薦をお願いします。

平和の会ニュース、平和かわら版（PDF版）配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは 029-831-9122

早い、確実に届くご希望の方は eMa i l アドレスご連絡ください